



議会だより

No.151
令和8年4月16日

松崎

【大沢：桜】



議会だより 定例会一般質問動画は松崎町議会ホームページでも視聴可能です。



the most beautiful villages in japan

松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

《主な内容》

第1回定例会（3月3日～3月9日）

- 令和8年度当初予算……………2
- 令和7年度補正予算・他……………5
- 町政を問う 一般質問に7議員……………7



令和8年第1回定例会が、3月3日から9日までの5日間で開催されました。町当局からは、条例が8件、令和7年度補正予算5件、令和8年度当初予算10件、人事案件その他の4件が提出されました。

令和8年度一般会計予算は、前年度比1億3,800万円増（3.1%増）の総額45億8,300万円となりました。

主な事業としては、新斎場建設などの西豆広域行政組合負担金、物価高騰対策事業の給食費補助、町営観光施設などの公衆無線LAN更新、旧中川小学校に係る町有施設改修、池代御座木橋の補修工事などが計上されました。

補助財源や起債など活用して基金残高も注意しながら、町民の皆さまの暮らしを支える事業を実施していく内容となっています。

歳入

町債前年度比
4億7600万円増
過疎対策事業債等
有効活用

問 過疎債が全額もらえないと財政的に厳しいが戦略はあるか。

答 総務課長 県内の各過疎自治体でも過疎債の活用計画があるので、町の厳しい状況を国などに要望しなければならない。

問 人口は減少しているが町民税が増加している。その要因は何か。

答 窓口税務課長 納税義務者も減少してきているが、給与所得が増加傾向のため増えている。

歳出

災害対策施設
整備費前年度比
1202万円増
避難タワー設計等

問 津波避難タワーの設計・地質調査の場所はどこになるのか。

答 総務課長 避難困難区域のなかで決める。令和8年度は南区の旧武道場の箇所となる。

問 地域防災マネージャーの内容や費用は特別交付税の対象となるのか。

答 総務課長 会計年度任用職員で募集する。防災講習など受講している方で各種計画を作成する。交付税の対象となる。

問 長八美術館の入場者が前年比6000人と減少しているが、分析や改善策はあるか。

答 企画観光課長 昨年は多く見込んだが、現状に合わせ減らした。対策は催しを考えている。今年度は例年の鏝絵コンクール作品展示や山本堪一氏の特別展なども行った。

問 今年度から総合運動場施設などでスマートロックで利用できるようになったことにより、貸し出していない年末年始も利用できるように変更していく考えはあるか。

答 教育委員会事務局長 利用期間の拡充については、スマートロックの利用状況分析を始めていく。うまくいっているようなら今後検討していきたい。

問 職員管理システムは時間外の管理をするようなものになるのか。

答 総務課長 時間外申請をこのシステムにより行っていく。職員の出勤時の押印も廃止する。

問 なまこ壁改修補助の申請は誰がするのか。補助要綱では継続して補助が受けられるようになっているが、どう考えるか。

答 企画観光課長 持ち主からの申請となる。要綱については3年を限度とする補助改正を予定している。

問 コミュニティ施設整備事業が増額となっている理由は。

答 企画観光課長 人が集まる公民館などの整備に係る補助率を2分の1から3分の2に上げた。LED化が進んでいない現状があり、変更する。

問 敬老の日の地区への委託がなくなった経過は。

答 健康福祉課長 昨年は420万円計上した。長年社会に貢献した高齢者を敬い、同世代の交流、地域との絆も深めていたが、コロナ以降集まってい

行く地区も減り、商品券などの配布が増えた。アンケートを実施したが集まる地区は少なく、配布継続も半々であり、実施するところだけへの補助も難しかった。

問 桜のてんぐ巣病対策予算はあるが、桜のコケや切ったところの傷みへの対策は。

答 企画観光課長 那賀川沿いの桜は、50年以上経つ老木で、寿命も考えられる。新しく河川敷に植えるのも難しい。

問 賀茂地区障害者計画策定の中で手帳を持っている人が増えてきている。グループホームがないが今後ニーズがあるのでは。

答 健康福祉課長 賀茂地区の事務局で松崎町が

策定する。ニーズ調査は現在行っているので意見が出てくれば載ってくる。こととなる。

問 電算推進費でパソコン購入があるが、使用していたパソコンは議会改革の取り組みとして議会で再利用していくことは可能か。

答 企画観光課長 個人情報との関係で撤去の費用を計上しているが、確認をする。

問 駿河湾フェリーから新しい情報は入っているのか。

答 企画観光課長 運営継続を今後1年間で判断していく。昨年11月から1年間で値上げや採算性を検証していく。

問 小学生のフッ素洗口はどのように実施するのか。

答 健康福祉課長 小学生を対象に毎週1回フッ素洗口をする。

問 伏倉細田住宅の5棟のうち2棟を解体する工事があがるが、過疎計画では公営住宅を整備すると記載されている。解体後の活用の検討方法は。

答 産業建設課長 解体に過疎の基金を充てることもあり計画に入れている。残りの3棟には居住者がいるので、現状では活用の検討はしていない。

問 休日の図書館の開館で変更していく内容は。

答 教育委員会事務局長 災害時などの対応で2人体制が必要であり、利用者数の少ない第1、3、5日曜日を休館とすることで、体制を確保したい。

国民健康保険会計

予算総額8億5360万1千円、前年度比81.97万8千円、8.8%減となった。歳入では、子ども子育て支援納付金の創設に伴い国民健康保険税を前年度比1.4%

増とした。歳出については、保険給付費を前年度比13.8%減と見込み、県への納付金と特定健診の単価アップにより保健事業費を増額した。

問 国保基金を取崩しての繰入金があるが、今後の流れはどうなるか。

答 健康福祉課長 被保険者が減り国保税収入が減った。また、県でもコロナ禍で余裕のあった基金で町納付金負担分を抑えていたが無くなった。今後については、不足する分は国保税の改正も考えられる。

問 国の方で湿布や花粉症などの調剤負担の見直しをしており、一般の薬局で保険適用外での購入を検討しているが、国保への影響は。

答 健康福祉課長 詳細は来ていないが、国保で負担していた7割分が軽減されていく。

水道事業会計

収益的収入及び支出予算において、事業収益を1億9592万4千円、事業費用を1億6031万9千円としたため、税抜きの前年度純利益を2896万3千円、前年度比30・0%減とするもの。

資本的収入及び支出予算において、収入予算として、防災・安全交付金、企業債、温泉事業会計借入金、一般会計繰入金を計上し、支出予算として、伏倉地区送配水管布設工事などを計上した。

問 2ヶ月分の基本料を物価高騰交付金で補助し免除するが、消費税の対応が難しくならないか。

答 生活環境課長 交付金が特定収入ということでは5%を超えてしまうと消費税の仮払いから抜かなければならない。税務署にも確認したが、そうすると余分に消費税を支払うケースがでてくる。

温泉事業会計

収益的収入及び支出予算において、事業収益を6035万円、事業費用を3943万2千円としたため、税抜きの前年度純利益を1841万6千円、前年度比15・2%増とするもの。

資本的収入及び支出において、収入予算として、加入金、他会計貸付金償還金を計上し、支出予算として、温泉事業経営戦略改定業務委託、水道事業会計貸付金、温泉施設改良整備工事（単単）などを計上した。

問 入浴以外の目的で温泉を活用していく予定はないか。

答 生活環境課長 基本は給湯による収入だが、個人利用の相続の中での権利放棄や営業で廃業されるケースなどがあるもので、経営戦略改定業務で入浴以外の方法を検討していく。

伊豆まつぎ荘会計

収益的収入及び支出予算において、宿泊利用人数を前年度当初から1500人増の2万2500人（宿泊利用率46・6%）とし、事業収益は、4億2510万円14・2%増とし、事業費用は前年度比11・2%増の4億1200万円としたため、当年度純利益を1064万5千円とするもの。なお、令和8年度末未処分利益剰余金は、▲2億8254万2千円となる。

問 期首と期末で現金が減る予算となっているが資金ショートへの心配はないか。

答 企画観光課長 令和7年度も現金が少なくなっていて当初予定した工事も見送っている。今回プラスの予算を立てているが現金の動きを確認し、対応していく。

問 当期純利益約1000万円を見込み、一般会

計ではまつぎ荘への人材派遣1000万円を計上している。この派遣分をまつぎ荘会計に入れて考えてみると当期純利益はゼロとなるが、低いとは考えないか。

答 企画観光課長 外部の支配人や後方支援でアドバイスを受けている。今は一般会計から支援があるが、継続していく形ではなく、まつぎ荘に無いノウハウを習得する期間で、支援なく運営できるのが理想だと思う。

問 食事の改善を以前から話していたが、改善が見受けられない。収益を上げていくのに食材費原価40%の見直しなどをアドバイザーのEM&EM社と行い、どう考えるか。

答 企画観光課長 基本的な材料比率の40%は決して高いものではないと考えて、切り詰められるものや食事の出し方の改善について、試作などを行い取り組んでいる。

令和8年度

まつぎ荘当初予算

反対討論

令和7年度赤字が見込まれ、令和8年度も利益無しとの予算と考える。運営改善で民間のノウハウを入れていくが、思う通りには進んでいない。職員を民間会社への出向として運営し、成果による評価でモチベーションがあがるのではないかと考える。本予算では民間活力が活かされていないので反対する。

賛成討論

赤字が続いているが、何とか利益を出す予算である。料金改定や報償費改善などにより利益を出すことを期待する。

ほかに後期高齢者医療・介護保険・岩地集排・石部集排・雲見集排の当初予算も可決されました。

令和7年度補正予算

一般会計

歳入歳出から5250万2千円を減額して、補正後の額を46億4203万9千円とするもの。

国庫支出金、普通交付税の未予算化分、地方消費税交付金などを増額し、県支出金、観光施設売店売上げ諸収入などを減額した。

歳出の主なものは、物価高騰対策商品券配布事業（繰越）に伴う委託料、郵便料、財政調整基金積立金、戸籍附票システム改修業務委託、保育所実施委託、災害対策用資機材購入などを増額し、観光施設などに係る指定管理委託、助成金対象となったことによる賀茂地区航空写真共同撮影事業負担金などを減額した。財政調整基金繰入金を減額し財政調整基金の見込残高は10億1772万

8千円となった。

問 ふるさと納税は企業人材派遣で改善を図ったが減額になった理由は。

答 企画観光課長 制度改正による駆け込み需要を期待したが伸びがなかった。企業人材の方には事業所をまわってもらい現地決済型も進めたが、収入向上につながらなかった。

問 物価高騰対策商品券配布はどのような内容になっているのか。

答 企画観光課長 1人当たり1万円の商品券を配布する。消費者目線で大型店舗でも使えるものにする。半分は町内事業所、半分は共通券という形で早くても5月中の配布になる予定。

問 減額した若年がん患者等支援事業の内容は。広報はしているか。

答 健康福祉課長 がん患者の医療用のウィッグ

などの支援でホームページで広報している。

国民健康保険会計

歳入歳出から2031万4千円を減額して補正後の額を9億2152万9千円とするもの。

歳入において、県支出金、繰入金、諸収入を減額。歳出では、総務費、保険給付費、保健事業費を減額とし、諸支出金、予備費を増額した。

問 特定健診の委託費を減額しているが実績はどうであったか。

答 健康福祉課長 台風で日程を替えた日もあり、41%を見込んでいたが381人33.1%となった。

伊豆まつざき社会計

収益的収入及び支出予算において、事業収益を食料料などの見込み減に

より168万4千円減額、事業費用を旅行会社への手数料などの見込増により959万1千円の増額としたため、当年度純利益を1010万4千円減額して▲2138万5千円とするもの。

問 経営状況が厳しい。雇用や経済効果はわかるが、赤字の最大の要因は。手数料率はどれくらいか。

答 企画観光課長 旅行会社などへの手数料が増加している。約10%の率で支払っている。

問 リピーターを増やしたいが、現状はどのようにしているのか。

答 企画観光課長 お客様様を自社サイトに誘導して、良いサービスが受けられる方策を考えている。

過疎計画

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき策定するもの。現行の計画が令和7年度で終了することから、令和8年4月1日から令和13年3月31日までの5年間の計画を新たに策定する。

問 再生可能エネルギーは住宅用太陽光パネルしかないが、他に考えはあるか。

答 町長 太陽光、風力、小水力やペロブスカイトなどがあるが、進んでいない。企業・大学などと探っていくたい。

問 こどもを育てる環境の中で下田高校への遠距離通学に対して補助の考えはあるか。

答 町長 地元の松崎高校に通う生徒もいて総合的に検討している。バス代だけが必要なものではないとも考える。

ほかに後期高齢者医療・介護保険補正予算も可決されました。

第1回臨時会・第1回定例会の概要・賛否状況一覧

議会名	議案番号	件名	藤井昭一	菜野良枝	高橋良延	小林克己	深澤守	高柳孝博	藤井要	議決状況
第1回臨時会 2/5	議案第1号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度松崎町一般会計補正予算(第5号)) 衆議院議員選挙にかかる費用を補正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第2号	令和7年度松崎町一般会計補正予算(第6号)について 歳入歳出に6,164万5千円を増額して、補正後の額を46億9,454万1千円とするもの。歳入の地方交付税、国県補助金、町債を増額し、歳出の物価高対応子育て応援手当、国土調査費、松崎港湾維持修繕負担金を増額するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
第1回定例会	議案第3号	松崎町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について 保育所等を利用していない0歳6か月から3歳未満の児童が、保護者の就労状況にかかわらず、利用できる「こども誰でも通園制度」が令和8年度から全国の自治体で始まるため、保育所等における事業の設備・運営基準を定めるもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第4号	松崎町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 令和7年人事院勧告に伴い同様に改正するもの。①通勤手当新設 ②駐車場等の利用に対する通勤手当を新設 ③配偶者に係る扶養手当の廃止、子に係る扶養手当の増額④地域手当の増額	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第5号	議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の一部を改正する条例について 金額設定を700万円から1,500万円に改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第6号	松崎町行政手続条例の一部を改正する条例について 行政手続法の改正に伴い、「聴聞」及び「弁明の機会の付与」に係る公示送達をインターネットによる公表を前提としたものに改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第7号	松崎町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について 損害補償に係る補償基礎額及び補償基礎額の加算額を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第8号	松崎町営宿泊施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 伊豆まつざき荘の宿泊利用料について増額幅を増やし、より柔軟な料金設定を可能とするため条例の一部を改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第9号	松崎町水道事業給水条例の一部を改正する条例について 給水装置の工事は町長が指定した者(指定給水装置工事事業者)が施工することとされているが、災害その他非常の場合には、他の市町村長などが指定した者も松崎町において給水装置工事を施工することが可能となるよう改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第10号	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約について 構成団体「南伊豆地域清掃施設組合」の解散に伴い変更するもの。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第11号	令和7年度松崎町一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第12号	令和7年度松崎町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第13号	令和7年度松崎町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について 歳入歳出に123万5千円を増額して補正後の額を1億5,199万4千円とするもの。歳入において、保険料を増額、一般会計繰入金を減額とした。歳出では、納付金を増額とした。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第14号	令和7年度松崎町介護保険特別会計補正予算(第3号) 歳入歳出から3,768万6千円を増額して、補正後の額を10億7,007万4千円とするもの。歳入において介護保険料を減額、国庫支出金などを増額とした。歳出では地域支援事業費などを減額とし、保険給付費などを増額とした。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第15号	令和7年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第16号	令和8年度松崎町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第17号	令和8年度松崎町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第18号	令和8年度松崎町後期高齢者医療特別会計予算について 予算総額1億5,938万6千円、前年度比1,339万8千円、9.2%増となった。歳入の後期高齢者医療保険料を前年度比9.1%増とし、歳出については静岡県後期高齢者医療広域連合への納付金などを増額した。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第19号	令和8年度松崎町介護保険特別会計予算について 予算総額10億500万円、前年度比4,600万円増、4.8%増となった。歳入の介護保険料が前年度比1.22%増とした。歳出については、総務費、保険給付費を増額し、地域支援事業費は減額した。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第20号	令和8年度松崎町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第21号	令和8年度松崎町温泉事業会計予算について	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
	議案第22号	令和8年度松崎町営宿泊施設「伊豆まつざき荘」事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第23号	令和8年度松崎町岩地漁業集落排水事業会計予算について 収益的収入及び支出予算において、事業収益は排水処理施設使用料、事業費用は、地区指定管理業務委託等となり、不足を補う一般会計からの補助金は688万3千円として税抜き当年度純利益を1千円とするもの。資本的収入及び支出において、収入予算として、加入金1千円、支出予算として企業債償還金65万円を計上した。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第24号	令和8年度松崎町石部農業集落排水事業会計予算について 収益的収入及び支出予算において、事業収益は排水処理施設使用料、事業費用は、地区指定管理業務委託等となり、不足を補う一般会計からの補助金は547万4千円として税抜きの当年度純利益を0千円とするもの。資本的収入及び支出において、収入予算として、加入金1千円、支出予算として企業債償還金65万円を計上した。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第25号	令和8年度松崎町雲見漁業集落排水事業会計予算について 収益的収入及び支出予算において、事業収益は排水処理施設使用料、事業費用は、地区指定管理業務委託等となり、不足を補う一般会計からの補助金は1,081万9千円として税抜きの当年度純利益を0千円とするもの。資本的収入及び支出において、収入予算として、加入金1千円、支出予算として企業債償還金170万3千円を計上した。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第26号	松崎町過疎地域持続的発展計画について	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第27号	教育委員会委員の任命について(栗原やすえ氏:指川区)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第28号	固定資産評価審査委員の選任について(山本眞一郎氏:峰区)	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第29号	副町長の選任について 木村仁氏が退任する為、西ヶ谷一男氏(南伊豆町下小野)を選任するもの。	無記名投票により採決 総数7票 賛成7票 無効票0票							同意

賛成:○ 反対:× 欠席:-

問 副町長は地元登用も必要

答 県からの派遣としている



藤井 要 議員



動画

問 副町長の任期が近づいているが町長として内定している候補者はいるのか。また、松崎の現状を肌で理解し、町民と同じ目線で行政運営にあたるためにも地元出身者の登用も重要ではないか。

答 (町長) 後任は、これまで同様に県より派遣を受ける方針。松崎は小規模な自治体であり、県との関係や外部に向けた広いネットワークを持つている人が、

町にもたらずメリットは大きい。現副町長も成果を上げてきた。

問 副町長は松崎での4年間を通じて何を感じ、町民や職員にどんなことを伝えたいか。

答 (副町長) 4年間暖かく受け入れていただいた皆さんに感謝している。松崎町は少子高齢化が進む自治体であるが、歴史と自然など多くの財産を持つ魅力あ

る町と感じている。町の実態や役場内の状況を見て、職員一人ひとりが自らの責任を持って業務を遂行できる環境が重要と考えている。そのことが最終的に住民サービスの向上につながるのと意識を大切にしてほしい。

問 組合解散後の方針は

答 下田の改修結果待つ

問 南伊豆地域清掃施設組合は解散となるが、下田を中心とした広域事業を進めるのか、また単独事業として行うのか、さまざまな可能性を想定した計画案はあるのか。

答 (町長) 組合は、事業費の高騰などにより南伊豆町が離脱し、結果として解散となった。その後の広域検討では、下田市施設の改修可否などの調査結果を待っている段階である。今後の方針は調査結果を踏まえて検討していく。

問 下田の施設が利用できないと雲見地区や、西伊豆火葬場との関係もあり、外部搬出も検討する必要があると考えるが。

答 (生活環境課長)

外部搬出により南伊豆のように安くなる可能性もあるが、コンテナへの積み込み場所も必要であり検討が必要と考える。

問 将来見据えた計画を

答 中学統合は喫緊の問題

問 松中・西伊豆中の統合は教育の質を維持するためにも必要と考えるが、両町の少子化が進む中、中学校の統合だけでなく、幼・保も将来を見据えて、検討が必要ではないか。

答 (教育長) 部活動などが単独でできなくなるのではないかと懸念を持ち、まず、中学校の統合を第一に考えている。

年度	1年生	2年生	3年生	計
R6	66	62	77	205
R7	66	66	60	192
R8	49	66	66	181
R9	48	49	66	163
R10	41	48	49	138
R11	43	41	48	132
R12	41	43	41	125
R13	38	41	43	122
R14	48	38	41	127
R15	30	48	38	116
R16	29	30	48	107
R17	28	29	30	87
R18	21	28	29	78
R19	14	21	28	63
R20	26	14	21	61

▲松崎・西伊豆中学校合計生徒数の推移予測

問 総合戦略の進め方は

答 デジタル技術を活用



高柳 孝博 議員



動画

松崎町の未来に向けた3つの質問

▶ デジタル化と財政改革の進め方について ◀

1 デジタル田園都市構想

総合戦略をどう進めるのか？

2 DXの推進

伝統文化を次世代に継承するには？

3 財政改革

財政をどう立て直すのか？

松崎町の持続的な発展のための方針を問います！

問 松崎町デジタル田園都市国家構想総合戦略では、「デジタル技術を活用して一層の躍進を図る」としているが、計画は進んでいるか。また、現状をどのように評価しているか。

答 (町長) 総合戦略については、総合計画における人口減少対策や地方創生に関する取り組みを集約したものと。この計画については、情報発信やコミュニケーションにSNSなどデジタル技術を活用している。計画の実施に当たっては、基本的な重要業績評価指標を設定して、毎年その進捗状況を確認するとともに、計画達成に向けた取り組みについて事業の内容、効果・課題、今後の取り組みなど事業評価を行い、議会への報告、ホームページでの公表をしている。

問 松崎町過疎地域持続的発展計画では、今後取

答 (町長) 財政が厳しい状況において、これから新斎場の建設、水道施設の改良、防災施設の整備などハード事業が多く予定されているので、国・県などの財政支援をどれだけ確保できるかが事業を進めていく上で大きな課題となってくるかと考えている。

いきたいと考えている。

問 財政改革方針は

答 データ分析、試算で

問 財政改革計画のシミュレーションはいつ行うか。また改革計画はいつできるか。

答 (町長) 将来的に人口減少が進んでいく中で税収の減収も見込まれることから、特定の行政サービスを提供しているものについては受益者に適正な負担を求め、国県の補助金や有利な起債を最大限活用するよう各課へ通知し対応している。

問 DXの推進は

答 A-1の活用で

問 今後、観光、製造業、漁業、農業、サービス業など各分野のためのA-1の展開が進むと考えるが、人材育成を含めた分野ごとの具体的な施策展開をどう考えるか。

答 (町長) AIの進歩は著しく、それぞれの専門分野ごとに発展しているため、情報収集しながら活用して

財政計画の必要性については認識しており、現在、データの分析など今後の試算を行い、将来にわたって健全な財政運営ができるよう努める。

問 経済の活性化は

答 商品券の配布



深澤 守 議員



動画

問 来年度の予算で松崎町の経済を活性化させる重要な施策を伺う。

答 (町長) 国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した町の経済を活性化させる事業を予定している。商品券配布や町内事業者の伴走支援などを予定している。

問 現在、生産者の減少により一次産品の減少が著しい。国が推し進めて

いるみどりの食料システム戦略に基づいた農業振興を図るべきと思うが、どう考えるか。

答 (町長) みどりの食料システム戦略は、持続可能な社会の実現に向けて、食料生産から消費までの全ての過程における環境負荷を低減し、循環型の食料システムを構築するための包括的な戦略である。当町においては、関連する事業として、環境保全型

農業直接支払交付金事業により有機栽培などを行っている農業者団体に対し交付金を交付している。



問 地域の課題を解決する事業を推進するための特定地域づくり事業協同組合の設立が必要と思うがどう考えるか。

答 (町長) 令和4年度に、松崎町・西伊豆町での組合設立に向けた合同勉強会や制度説明会などを実施した。活用希望者はいたものの、

中心となり進めていただける方がおらず、設立に至らなかつた経緯がある。町としては、当時より更に人口が減少し、人材確保が困難な状況となつているので、必要性はあるものと考えている。

問 行財政改革は 答 事業内容の精査

問 令和7年度に行われた働き方・行政の効率化改革では、どのような施策をおこなったか。またどのような成果があったか伺う。

答 (町長)

働き方改革では、開庁時間を見直した。閉庁時間中における事務の集中処理による効率化・生産性の向上、まとまった打ち合わせ時間確保によるコミュニケーションの活性化、業務準備や事後処理などを勤務時間内に行うことで時間外の作業を抑制するなどの理由から

行った。カスハラ対応の電話も導入し、録音機能を持たせ、勤務時間外における電話対応を原則しないような形とした。ただし、見直しは3月2日からとなるので成果については、今後検証していくこととなる。

また、電子決裁システムを導入し決裁の迅速化、事務負担の軽減を図った。

問 令和8年度役場業務の効率化、行財政改革はどのような施策で改善していくのか。

答 (町長)

令和7年度に導入した各種システムの着実な運用を図りつつ、新たにチャットツールや電子申請システムの導入で業務の効率化を図っていく。また、財政改革では、国県補助金の活用、有利な起債の充當などにより財政負担の軽減を図ると共に、事業内容を精査するなどして予算を執行していく考えである。

問 岩科地区への巡回診療は

答 現状ストップしている



高橋 良延 議員



動画

問 町長は、診療所に代わる新しい医療体制の一つに、巡回診療を掲げている。岩科地区での巡回診療の話が医療機関からあったようだが、実現に向け、取り組むべきでは。
答 (町長) 個人的な付き合いの中で、診療所の先生から、岩科地区での巡回診療の話があり協議したが、いろいろなハードルがあるため、現状ではストップしている。

問 松崎版地域包括ケアシステムの構築について、この4年間で具体的に予算化し、取り組んだ事業はあるのか。
答 (町長) 関係者の中でいろいろ協議してはいるが、事業の中では、なかなかできていない。
問 町長の掲げる医療・福祉・交通の連携の中で、病院が困難な町民をどう守っていくのか。

答 (町長) 交通手段の確保については、寿乗車券や福祉タクシー、買い物等支援タクシーを利用し通院していただいているが、ライドシェアなどの新しい公共交通の活用も検討する。
問 緊急物資集積所の移転は
答 適地がない
問 避難所や孤立集落への物資運搬の要となる緊急物資集積所は、津波浸水区域内の松崎中学校体育館である。桜田の運送会社と防災協定を締結し、民間企業の強みを生かし、安全で機能的な物資集積体制を図る考えはあるか。
答 (町長) 物資集積所は広いスペースを確保しなければならず、適地がない状況。運送会社には、以前断られた経緯があるが、時代も意識も変わり、再チャレンジする価値はあると考えている。

問 旧中川小学校を役場が被災した時に、災害対策本部のオフサイトセンターとする考えはないか。
答 (町長) 現在、下田土木事務所松崎支所の移転先の予定として改修設計を進めている。指定避難所でもあり、場所を確保するのは困難である。
問 旧依田邸と依田之庄
答 6月までに結論を出す
問 旧依田邸と依田之庄は、コンサルタントが調査結果として「譲渡・撤退」の方向性を提案したが、町も同じ考えか。
答 (町長) 旧依田邸は、現状のまままで運営していくことは難しいと認識しているが、町の貴重な文化資源であり、慎重に判断していく。

問 ワークショップでは、「譲渡・撤退」の方向性を説明しているのか。
答 (企画観光課長) 調査結果を報告した上で話し合いを行っており、地域の意見を踏まえた中で取りまとめていく。
問 来年3月で指定管理期間満了となる道の駅と旧依田邸の最終的な結論はいつ出すのか。
答 (町長) 指定管理の関係もあり、6月までに方向性を出していく。



▲譲渡・撤退が提案された旧依田邸と依田之庄

問 雑がみの収集量は

答 令和6年度2万320 kg



小林 克己 議員



動画

問 新たにごみ減量のため行った雑がみの収集によるごみの削減効果は。

また、雑がみ収集を始めてからの焼却灰の削減効果は。

答 (町長)

令和6年度の雑がみの収集量は2万320 kg。可燃ごみの収集量と比較して1・1%の削減。焼却灰の削減効果は、可燃ごみ量に対する焼却灰の搬出量の割合が、令和6年度で12・7%となり、2

581 kgの削減と推測される。

問 本年3月末で南伊豆地域清掃施設組合は解散するが、本来施設稼働までに10%のごみ減量がされなければならなかった。

令和7年度のごみ削減状況およびさらなるごみの減量に向けた具体策は。

答 (町長)

広域のごみ処理施設は、整備費の抑制などで施設稼働時にごみ減量が必要

な施設規模での整備計画だった。その削減策として、容器包装プラスチックを資源ごみとして分別収集する計画で、施設稼働と同時に計画としていた理由は、保管場所の確保が難しかったことである。令和6年度の当町の可燃ごみの量は、1838トンで、広域ごみ処理基本構想で予測した1939トンより101トン少なく、比較では94・8%である。令和7年度1月末現在の可燃ごみの前年対比は96・2%で、昨年度より減少しており、更なるごみの減量に向けて様々な対策を検討する。

問 今後、毎年焼却炉の維持補修にかかる費用は。

答 (町長)

クリーンピア松崎を稼働し続ける場合には、毎年9000万円程度の委託費が必要である。

問 消防団、隊の再編成

答 現時点、検討なし

問 2年前、消防団の待遇改善の質問をした。しかし、隊の再編成の課題は残されていた。その後、どのような検討がされたのか。

答 (町長)

団員数の減少により今後も小隊の再編は団において検討されていくことと思われるが、現時点において具体的な検討はしていない。

問 平日の昼間に出動要請があった際、全ての小隊で出動可能な隊員は確保できているのか。

答 (総務課長)

一番少ないところで5名である。消火に必要な人数である。

問 機能別消防団員、設置の考えは。

答 (総務課長)

現在のところ、検討していない。



▲団員数が減少している消防団の
令和8年出初式の様子

問 医療マースの導入は

答 興味深い取り組みを参考に



藤井昭一 議員



動画



三重県鳥羽市の医療マース (MaaS)

医療マースとは移動する診療所である。看護師が乗車して、通院が困難な患者宅まで行き、医師は病院にいな

問 新しい医療体制の構築について、これまでのような検討がされてきたのか。

答 (町長)

池代地区や門野地区などの無医地区、準無医地区において、巡回診療などを検討してきたが、現には至っていない。

問 通院が難しい高齢者の方でも安心して診察が受けられるよう、医療マースの導入を検討できないか。

答 (町長)

看護師が患者の自宅を訪問するオンライン診療は有効だと考える。医療マースの取り組みはとも参考になると思う。

問 医療マースを西伊豆健育会病院と連携して導入することはできないか。

答 (町長)

民間の医療機関と行政がどう関わっていくか、今後の検討課題としていきたい。

問 地域医療を進めていくために医療関係者を集めた話し合いの場を作って検討してはどうか。

答 (町長)

地域包括ケアシステムが重要となる。連携できるシステムが必要と思っている。

問 那賀川水門建設は

答 整備計画案が完成

問 県的那賀川水系河川整備計画原案が完成し、水門整備について、進めていくことが盛り込まれたが、町として水門の役割をどう認識しているか。

答 (町長)

水門建設は津波から人命と財産を守る極めて重要な事業であると考えている。

問 南区や宮内など那賀川の沿岸部で大雨により

雨水が町に氾濫することに対して町はどのような対策をとるのか。

答 (町長)

浸水被害の要因や沿川の状況等を踏まえ、県と連携し浸水被害の軽減を図っていきたい。

問 入湯税の検討を

答 協議していく

問 賀茂郡内の全ての他市町は観光振興の財源確保のために入湯税の増税宿泊税の導入検討を行っている。当町だけが従来のみである。観光振興の格差が益々広がることになると思うがどうか。

答 (企画観光課長)

観光協会からも予算の引き上げの要請が来ている。検討していきたい。

問 入湯税を上げた分で何をするのか。例えば棚田の灯りにバスを借り上げるなど具体的な観光施策を提示して事業者の理解を得ることが必要だと思うがどうか。

答 (企画観光課長)

そのことも含めて、協議していきたい。

健康増進計画の重点施策は

高血圧症リスクへの対策



菜野良枝 議員



動画

問 第5期計画で特に力を入れる点は何か。

答 (町長)

塩分摂取過多による高血圧症に対する取り組みを重点課題とした。

問 小学生の朝食摂取の割合が中学生と比較して低い。要因を調査しているか。

答 (教育長)

基本的な生活リズムの乱れが根本的な要因ではないかと分析。

問 学校給食に地元の無農薬などの米を含む食品の導入は検討できないか。

答 (教育長)

安全な食の確保と松崎の豊かな農業の振興を両立させるよう、実現可能な形を模索している。

問 定期的に受診できる歯科医院が町には少ないが、対策はあるか。

答 (町長)

賀茂圏域全体で考えていく必要がある。また、幼

少期からの歯科指導・教育に取り組む。

問 まつざき健康マイレージのアプリ化、健診ネット予約の実現性をどう考えているか。

答 (町長)

デジタル機器に不慣れな方の参加や費用、ポイントの運用方法などの課題がある。実施事例を参考に検討したい。

ネット予約については、ロゴフォームなどを活用し、実施ができないか検討している。

問 誰でも通園制度は

答 聖和保育園に打診

問 松崎幼稚園に「こども誰でも通園制度」を導入できないか。

答 (町長)

松崎幼稚園は、設備や対象年齢から導入は難しい。受け入れは聖和保育園に打診し、協力的な回答を得ている。

問 単なる預かりだけでなく、相談窓口の設置はできないか。

答 (健康福祉課長)

母子保健と福祉関係と

協力して、相談支援もしていきたい。

問 今後のごみ処理は

答 様々な可能性を検討

問 下田市清掃センター改修を代替案としている理由は。

答 (町長)

当初計画の継続は財政的に困難。管理者会議の中で話し合いがされた。

問 1市2町で改修する場合の財源は。

答 (町長)

補助金や負担金、さまざまな財源を模索する。

問 雲見区との協議は。

答 (町長)

令和8年度中に協議を開始しなければ間に合わないかと理解している。

「こども誰でも通園制度」がはじまります!

働いてなくてもOK!「こどもまんなか」で育ちを応援する新しい仕組み。

誰が利用できるの?

0歳6ヶ月から3歳未満の、保育園や幼稚園に通っていないすべてのお子さんが対象です。

どんなメリットがある?

お子さんは家族以外の交流で成長し、保護者の方は、育児の不安相談や自分時間を確保できます。

利用時間と料金の目安

最大月10時間 1時間300円程度

月に最大10時間まで利用でき、料金は1時間300円程度(世帯状況により減免あり)です。

▲こども誰でも通園制度イメージ図

次の定例会は、6月2日(火)からの予定です。

議会のらごき

1月

- 15日 広報編集委員会
- 23日 賀茂郡町議会議長会議（松崎町）
- 29日 広報編集委員会

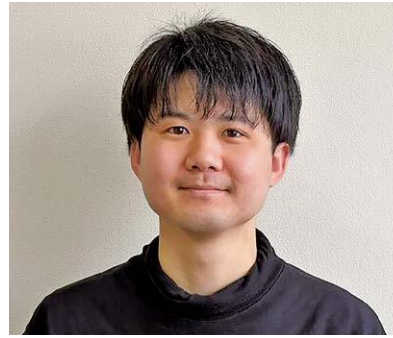
2月

- 3日 静岡県地方議会議長連絡協議会
第2回政策研修会（静岡市）
- 5日 第1回臨時会
議会だより第150号発行
- 12日 議会全員協議会
南伊豆地域清掃施設組合定例会
- 16日 重要問題懇談会
下田地区消防組合議会定例会
下田メディカルセンター組合議会定例会
- 18日 静岡県町村議会議長会総会（静岡市）
- 25日 議会運営委員会・広報編集委員会
議員勉強会
- 26日 議員勉強会

3月

- 3日～9日 第1回定例会
- 26日 広報編集委員会

表紙の写真「大沢・桜」は文化協会写真部より提供。



この人に
聞きました④
株式会社 丸岡
中秘茶 毅さん
(江奈之)

町内で活動している皆さんを紹介するコーナーです。今回は、製造業を営む丸岡毅さんにお話を伺いました。

○活動の内容について教えてください。

町内を拠点として松崎の特産大島桜の葉を使い、特別なお茶を生産しています。虫が葉を食べ、体内で発酵させ、排出されたものを乾燥させてお茶として販売しています。香りが良く好評です。

○課題や今後の活動は。

現在既に国内・海外問わず様々な地域で販売しており、ミシユラン認定店でも提供されている状況です。今後より多くの卸先を探し、今よりも多くの方におすすめていきたいです。

課題としては、桜葉や虫は十分に手に入りますが、虫を飼育する方がいないため、飼育者を募集している状況です。また、松崎町内での認知度もまだ低く、今後PRなどに

も力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

○町への要望はありますか。

周知や広報活動など、町のできる活動についてのサポートを要望します。今後松崎町の特産品になれるよう取り組んでいきたいと思しますのでご協力お願いします。

(聞き手 編集委員長)

発行責任者

議長 田中道源

編集委員長

高柳孝博

編集委員

藤井昭一
菜野良枝
高橋良延
小林克己
深澤守
藤井要

海鳴り

この度は、私の不始末により3月議会の開会時間に遅延を招く事態となり、町民の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深く反省し、心よりお詫び申し上げます。

今定例会で示された予算案は、厳しい財政状況の中、限られた財源をいかに配分するか苦心が垣間見える内容でした。議会としましては、計上された予算が適切かつ効果的に使われているか、執行状況を厳しく注視してまいります。

また、開かれた議会を指し、4月22日には松崎中学校3年生との懇談会を、6月27日(土)には昨年同様の議会懇談会を開催する予定です。皆様の声を直接伺い、町政に反映させていく所存です。

今後の議会運営に対し、より一層精進してまいります。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(議長)